

豊かな長寿社会を実現するために

いたわい



一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会情報紙

〔発行人〕 鈴木一良 〔編集・発行所〕 (一社) 茨城県福祉サービス振興会
〔編集委員〕 小室博俊、安藤真理子、柳下文江、桐原久雄
〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館5階
TEL.029-241-6939 FAX.029-241-6799

ごあいさつ



一般社団法人
茨城県福祉サービス振興会
会長 鈴木 一良

明けましておめでとうございます。お健やかに平成29年の新春をお迎えになられたことお喜び申し上げます。

豊かで安心して生活できる高齢社会の実現に向けて活動している一般社団法人茨城県福祉サービス振興会に対して、日頃よりご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、実感は薄いものの景気は緩やかに回復傾向にあると言われ、また、介護を必要とする高齢者は年々増加している中で、介護人材の採用環境は一段と厳しさを増すとともに、介護職の離職率も依然として全産業に比べて高い状況が続き、人材確保に頭を悩ます状況が続いております。こうした状況下で、介護人材の確保を後押しするための



茨城県知事
橋本 昌

あけましておめでとつございます。

茨城県福祉サービス振興会の皆様方には、日頃より本県の福祉サービスの振興を通じ、県政の推進に多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、厳しさが残る一年でありましたが、G7科学技術大臣会合や県北芸術祭の開催、企業立地の進展等、明るい話題もありました。

本年も、災害に強い県土づくり、地方創生や「人が輝く元気で住みよいいばらき」づくりに全力を尽くしてまいります。

まず、少人数教育や理数・国際理解教育、道徳・郷土教

「2017年度介護報酬改定」が2016年6月に閣議決定されたことは業界にとって朗報であります。

本振興会においては、昨年より検討してきた「要介護認定調査事業」をいよいよ新年度から実施することで準備を進めております。また、メインの事業である講座・研修事業に関しても、昨年に引き続き県民及び会員事業所の要望も取り入れ、県民向け、介護職向け、リーダー・管理職向けに、また、専門研修、医療講座など各階層、各分野にわたって幅広く充実させたいと考えております。

本年度も茨城県はじめ関係団体と連携を図り、存在感ある団体として引き続き認知していただけますよう役員一丸となって努力する所存でございます。

会員の皆様には、厳しい業界環境ではありますが、本振興会の事業運営にご支援ご協力をお願い申し上げますと共に、より一層地域に密着した企業として活躍されますことをご祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。

育などの充実を図るなど、子どもたちの自主性・自立性を育んでまいります。また、女性や若者が活躍しやすい環境づくりや文化の振興などに力を注いでまいります。

また、働く場の確保や交流人口の拡大を図るため、広域交通ネットワークの整備や企業誘致、最先端科学技術を活かした新産業・新技術の創出や中小企業の振興、人材のU・J・タンの推進、県北地域の振興などに取り組んでまいります。

さらに、少子高齢化が急激に進む中、結婚・出産・子育てまで切れ目のない若い世代への支援、医師確保や救急医療体制の整備、高齢者の健康・生きがいづくりや障害者の自立支援、さらには治安の確保や交通安全対策などを推進してまいります。

茨城県福祉サービス振興会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝・ご多幸をお祈りいたしまして、新年のあいさついたします。

人材不足を 介護ロボットが解決！

— 介護ロボット普及モデル事業へ取り組み —

介護ロボットの 実用化に向けて

急激な高齢化の進展、要介護者の増加、介護期間の長期化など介護ニーズが増大するなかで、日本の高度な水準のロボット技術を活用し、高齢者の自立支援や介護者の負担軽減を図る介護ロボットの実用化に対する期待が高まっています。

どんな介護ロボットが あるの？

介護ロボットの種類や機能は様々ですが、大きくは以下の3つのタイプに分類されます。

- ① 介護支援型ロボット…
移乗、入浴、排泄など主に「介護する側」を支援
- ② 自立支援型ロボット…
歩行、リハビリ、食事など主に「介護される側」を支援

③ コミュニケーション・セキュリティ型ロボット…

癒しの提供や見守りの代行
厚生労働省と経済産業省では、ロボット技術の介護利用における重点分野として5分野8項目を定め、ロボット介護機器の開発を進めています。

これら介護ロボットに関する情報は、テクノエイド協会や経済産業省のホームページなどインターネットで提供されていますが、直接ロボットが動いているのを見たり説明を受ける機会が少ないのが現状です。

介護ロボット常設展示コーナーを開設

このため茨城県介護実習・普及センターでは、福祉用具・介護ロボット実用化支援事業（介護ロボット普及モデル事業）に取組み、介護ロボットについての幅広い知識を知っていただくための研修と、商品化された様々な介護

ロボット技術の介護利用における重点分野・項目

○移乗介助(装着)

・ロボット技術を用いて介助者のパワーアシストを行う装着型の機器



○排泄支援

・排泄物の処理にロボット技術を用いた設置位置調節可能なトイレ



○移乗介助(非装着)

・ロボット技術を用いて介助者による抱え上げ動作のパワーアシストを行う非装着型の機器



○認知症の方の見守り(介護施設)

・介護施設において使用する、センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム



○移動支援(屋外)

・高齢者等の外出をサポートし、荷物等を安全に運搬できるロボット技術を用いた歩行支援機器



○認知症の方の見守り(在宅介護)

・在宅介護において使用する、転倒検知センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム



○移動支援(屋内)

・高齢者等の屋内移動や立ち座りをサポートし、特にトイレへの往復やトイレ内での姿勢保持を支援するロボット技術を用いた歩行支援機器



○入浴支援

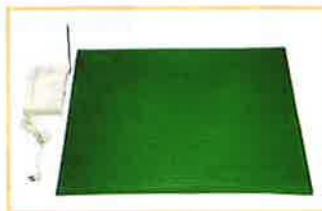
・ロボット技術を用いて浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器



茨城県総合福祉会館 2階に「介護ロボットコーナー」常設展示場を開設

展示ロボット紹介 (常設展示品)

一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会 福祉用具展示ホール



キャッチアップセンサー
(見守りロボット) 徘徊や転倒の危険をお知らせします。



イーテリアマット

ラップボン・エール
(自動ラップ式トイレ)
介護の負担や臭いを軽減します。



うなずきかぼちゃん
(子ども型ロボット)
かわいいおしゃべりをします。



RT. 2

(ロボットアシストウォーカー) 安全・快適な歩行をお手伝いします。



RT. 1

介護ロボット導入支援のための展示体験会及び研修会を開催

日時 平成29年2月15日(水)

午前10時

場所 茨城県総合福祉会館

講演1 「介護ロボットを巡る国の施策の動向」

講師 (公財) テクノエイド協会

企画部 五島 清国氏

講演2 「介護ロボットを活用の推進」

推進

講師 (社福) シルヴァーウィング

川西 正章氏

講演3 「介護ロボットについての行政説明」

行政説明

講師 茨城県長寿福祉課

介護ロボットはまだまだ開発途中です。多くの方に介護ロボットを知ってもらい、使った結果を開発に活かすことによって、安全で使いやすい介護ロボットの実用化が進みます。

介護の場面で介護ロボットの活躍を見るのもそんなに遠くないかもしれません。

会・員・事・業・所・訪・問

社会福祉法人 聖隷会



特別養護老人ホーム・ショートステイ「晴風園」

住所：〒311-3433 小美五市高崎字新田2206-1
電話：0299-26-7111
FAX：0299-26-1275
代表者：佐賀 弘美 (理事長)
ホームページ：http://seireikai.jp/
Eメール：seirei@jeans.ocn.ne.jp
開設：昭和42年3月

■業務内容

特別養護老人ホーム5カ所、ショートステイ4カ所、デイサービス4カ所、認知症対応型生活介護(グループホーム)5カ所、居宅介護支援事業所3カ所、障害者支援施設(ケアホーム、グループホームを含む)、保育園9カ所

地域に選べる施設をめざして
法人設立50周年を迎えます
「霞ヶ浦から望む筑波山は、大自然に包まれた優しさ」と雄大さを兼ね備えた姿があります。

この恵まれた環境のもと、子供たちからお年寄りや障害者まで、すべて

の人たちが心から幸せに感じることができるようにと、昭和42年にこの地に施設を開設してから50年が経ちます。私たち聖隷会は、あふれる優しさとしつかりとした足取りで、職員一同、地域のニーズに沿った福祉事業を展開しながら、選ばれる施設づくりに精一杯努めてきました。保育園においては、二十数年前から英語

の専任講師による英会話教室やスポーツ教室など、特別養護老人ホームやグループホームでは、それぞれ利用者に沿ったきめ細やかな対応と施設ごとの年間行事や書道教室、生け花教室などを開催し、利用者やご家族からも好評です。障害者支援施設では、農作物の販売や、保育園児による芋ほりなど、保育園児との交流も盛んです。特別養護老人ホームにおいても保育園児が文化発表会の演目を披露するなど互いに楽しんでいます。

これからも地域の皆様に愛される施設としてともに歩んでまいります。

会・員・事・業・所・訪・問

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 茨城支店



住所：〒310-0021 水戸市南町2-6-13
損害保険ジャパン日本興亜 水戸ビル
電話：029-231-8821 FAX：029-231-8822
代表者：浅桜 理樹（茨城支店長）
ホームページ：http://www.sjnk.co.jp/

域社会に貢献
することを第
一として事業
活動を行って
います。

茨城県
ご当地パンフ
レット

茨城県ご当
地パンフレッ
ト「黄門漫遊
自動車保険
いばらきス
シャルガード
」を新たに作
成しました。

地震・噴火・津波といった自然災害へ
の補償ニーズに添える自動車保険を
この茨城の地で普及していきます。

介護事業を安心して行う！
「ウォームハート」

介護事業を安心して行っていただ
くための専用商品「ウォームハート」
を販売しています。事業活動にまつ
わるリスクを包括的に補償します。是
非、一度お問い合わせください。

業務内容

● 損保ジャパン日本興亜は「SOMPO
Oホールディングス」の中核会社と
して、自動車保険や火災保険、賠償
責任保険など国内の損害保険販売
を核とした事業を行っています。ま
た、「安心・安全・健康」をテーマ
とするサービス産業への構造転換
を目指しています。

● 当支店においては、地域の実情に照
らした保険商品の販売を通じて地

お知らせ・情報コーナー

(1)【報告】平成28年度茨城県地域介
護ヘルパー養成事業推進セミナー
(Part1)開催

平成28年12月20日（火）13時30分
茨城県県南生涯学習センター
地域介護ヘルパー養成実践事例報告
利根町社会福祉協議会 大越由佳氏
地域包括ケアへの取り組みと課題
笠間市地域包括支援センター長

「地域包括ケア構築に向けた制度改
正の動向と市町村に期待される役
割・課題」
講師 国立社会保障・人口問題研究所
社会保障基礎理論研究部長
川越雅弘氏

(2)【予告】「新春講演会」・「新年賀詞交
換会」について

平成29年1月16日（月）15時
水戸市三の丸「水戸京成ホテル」
「新春講演会」
講演「社会福祉法人順明会における
キャリア形成支援について」
講師 キャリア支援企業二〇一五受
賞企業
社会福祉法人順明会 理事長
大塚昌明氏

(3)【予告】平成28年度茨城県地域介
護ヘルパー養成事業推進セミナー
(Part2)について

平成29年2月1日（水）13時30分
茨城県総合福祉会館
県外先行事例報告
講演「葛飾区生活介護員」の養成取
り組みについて

報告者 東京都葛飾区福祉部 高齢者
支援課 介護予防担当課長
佐藤智洋氏
講演「新しい総合事業を失敗しない
ために」
講師 淑徳大学総合福祉学部
社会福祉学科 教授

(4)【予告】福祉用具の事故予防（ヒヤ
リハット）研修会について

平成29年3月3日（金）13時30分
茨城県総合福祉会館
内容 「福祉用具の事故予防研修」
講師 作業療法士・福祉用具プラン
ナー管理指導者 高堀康裕氏

(5)【予告】茨城県腰痛予防講演会・取
り組み事例報告会について

平成29年3月8日（水）10時
茨城県総合福祉会館
講演「介護施設における腰痛予防対
策推進のポイント」
講師 大阪市 森ノ宮医療大学保健
医療学部理学療法科 教授
上田喜敏氏

(6)【予告】介護保険制度講演会について

平成29年3月17日（金）13時
茨城県総合福祉会館
講演1「2018年介護保険制度の
動向と課題」
講師 東洋大学ライフデザイン学部
生活支援学科 准教授
高野龍昭氏
講演2「公的介護保険外サービスの
動向について」
講師 (株)日本総合研究所創発戦略セ
ンター シニアマネジャー
齋木大氏